

令和8年度 板橋区立赤塚第二中学校 学校経営方針

【学校のミッション】

持続可能な学校運営と魅力ある教育活動を通じて、生徒が豊かな人生を自律的に切り拓くための確かな力と豊かな人間性を身につけるとともに、生徒・保護者・地域等から信頼される学校となること。

☆急激に変化する時代の中で子供たちに育むべき資質・能力

自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、**豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手**となることができるようにする。「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中教審答申)より

- ・自分の良さや可能性を認識=自尊感情、自己肯定感、自己有用感等、達成感、充実感を実感すること
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重=違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもつこと
- ・多様な人々と協働=目標実現に向けて、個性を活かしながら団結し、協力すること
- ・豊かな人生を切り拓くこと=自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること
- ・持続可能な社会の創り手=自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動すること+協働すること

【教育目標】

- 「**立志**」自ら志を立て、自ら考え判断し行動することのできる生徒を育てる。
- 「**鍛錬**」心身ともに健康で、努力を惜しまず、切磋琢磨し合う生徒を育てる。
- 「**協調**」規範意識を身に付け、他を思いやりながら協力し合う生徒を育てる。



【目指す学校像】…生徒を主語にした学校像

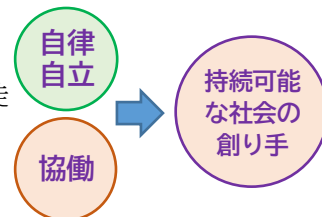
生徒の可能性を最大限に引き出す魅力的な教育活動を通じて、次の学校像を実現する。

- ① 豊かか人生を自律的に切り拓くための**確かな力を身につける学校** <知・体>
- ② 多様な人々と協働して社会を創るための**豊かな人間性を身につける学校** <徳>
- ③ **安心して学び、生き生きと活躍することができる学校** <環境・組織>

【目指す生徒像】

知徳体のバランスのとれた力を兼ね備えた、次の生徒像を実現する。

- ① **心身とも健康で、自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動する**生徒
- ② **あらゆる他者を尊重し、思いやりと感謝の心をもって協働する**生徒
- ③ **目標実現と課題解決に向けて、粘り強く創意工夫する**生徒



【目指す教師像】…生徒の学びを最大限に引き出し、信頼される教師

教育公務員としての**自覚と責任**をもった職務遂行を通して、次の教師像を実現する。

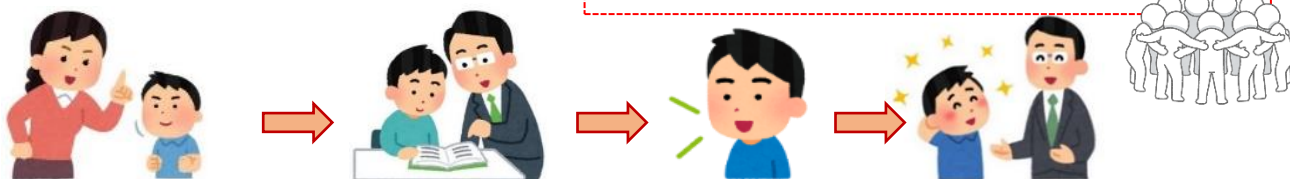
- ① **生徒の良さを発見する眼、受け止める心、語り合える言葉を大切に**する教師 <伴走者>
- ② **互いの健康と心を大切に協働し、互いの指導力を磨き合う**教師 <働き方改革>
- ③ **教育施策や社会の変化等を前向きに受け止め、誠実に対応する**教師 <学び続ける教師>

★本校で大切に**する**指導・支援

- ◇やる気にさせる・その気にさせる指導・支援
- ◇傾聴・寄り添う支援(伴走者)
- ◇学びの成果【内省】語らせる指導・支援
- ◇認め・褒め・励ます指導・支援
- ◇生徒と共に考え・語り合う指導・支援
- ※安心安全の場・自己決定の場・道徳科指導

★本校で大切に**させる**こと…生徒への啓発・指導

- 目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること
- 自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること
- 違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働*すること
- 個性を活かしながら団結し、協力すること



①やる気にさせる・その気にさせる ②傾聴・寄り添う支援 ③学びの成果(内省)を語らせる ④認め・褒め・励ます

【学校の教育目標を達成するための基本方針】…令和8年度重点教育活動

- ◎ 豊かな人生を自律的に切り拓くことができるよう、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通じて、生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況でも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養を図る。また、**持続可能な社会の創り手**となることができるよう、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通じて、生徒の可能性を引き出すとともに、赤二型学力と生徒自らが学び・考え・判断し・行動する力、目標実現に向けて粘り強く創意工夫する態度、多様な他者と協働することができる豊かな人間性等を育成する。

【学力向上】

- ① 「MIRAI SCHOOL いたばしアクションプラン2028」の理念の基に、学習指導要領の目標及び「板橋区授業スタンダード」に基づいた各教科等の指導を通して、生徒一人ひとりが学ぶことの楽しさや達成感を実感し、**基礎的・基本的な知識・技能の定着**と望ましい**学習習慣の形成**を図るとともに、振り返り等における言語活動の充実等を通して、変化の激しい社会を生き抜く**思考力・判断力・表現力と創造力**を育む。また、スタディールーム（放課後・夏季休業中）等を開催し、一人ひとりの課題解決のための支援を徹底的に行う。
- ② 協働的・探究的な学習及び体験的な学習、効果的な一人一台端末の活用等の充実を図りながら**確かな学力の定着**に向けた一体的な指導を展開し、生徒が生涯にわたり学び続けるための意欲と態度を形成するとともに、赤二型学力の習得及び読み解く力、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力、AI活用能力等の新しい時代を生きる子どもたちに必要な力の育成を図る。

【道徳教育・人権教育】

- ③ 道徳科を要とする道徳教育を学校の教育活動全体を通して行い、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる**道徳性を養う**。
- ④ 教育活動全体を通して人権教育を推進し、教師も生徒も共に人権尊重の理念を正しく理解し、互いの人格を尊重する態度と自他の生命を大切にする心、差別や偏見を許さない公正・公平な態度、他の人を思いやる心を育てるとともに、暴力やいじめのない学校づくりを推進する。

【健康教育・体力向上】

- ⑤ 健康教育・食育等の指導の充実を図り、生涯にわたり健康な生活を送るための基本的な知識・技能と運動に親しむ態度等を育成するとともに、運動習慣の確立と体力向上を推進し、健康な心と体を育成する。また、感染症対策を踏まえた実践的な危険回避能力を養い、自ら安全安心な生活環境を創造する力を育成する。

【生徒指導】

- ⑥ 基本的生活習慣の充実を図るとともに、社会や学校のきまりを守り、自ら進んで挨拶し、適切な言葉づかいに基づき、よりよい人間関係を築こうとする意欲と態度と、自己実現に向けて見通しをもって計画的に行動する力、自らをコントロールする力を育成する。
- ⑦ 生徒の可能性を最大限に伸ばすために、生徒が主体となって学び・活動する場を数多く設定し、一人ひとりの個性や能力、よりよく生きたいという願いや思いを見つめるとともに、その姿を認め、褒め、励ます指導を通して、自己理解を促進させ、**主体性、自己肯定感、自尊感情を高める**。
- ⑧ WEBQ等適切なアセスメントを基に校内委員会等を開催し、校内別室（居場所）の運営・支援策、個の状況に応じたきめ細かな支援策、社会的自立に向けた多面的・多角的な支援策等について関係機関等と緊密な連携を図りながら協議し、**組織的な指導・支援充実を図る**。

【特別活動・総合的な学習の時間】

- ⑨ 様々な集団活動において、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を大切に、自主的・実践的に取り組み、互いの良さと違いを認め合い、他者と協働してよりよい集団生活を築く力を育成するとともに、連帯感や達成感を実感できる教育活動を推進する。
- ⑩ 生徒が探究的な見方・考え方を働かせ、自らの創意工夫を生かした学びの実践を通じて、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

【特別支援教育・小中一貫教育】

- ⑪ 特別支援教室と拠点校の連携を図り、生徒の社会的な自立に向け、規範意識の醸成、基礎学力・コミュニケーション能力等の育成を図るとともに、保護者や生徒の願いを受け止め、個別の教育支援計画と個別指導計画、ユニバーサルデザインに基づいた指導の充実を図る。

【CS委員会・地域連携】

- ⑫ コミュニティ・スクール委員会において「教育参画」と「学校経営改革」の推進を図るとともに、開かれた学校づくりと地域コーディネーターの活用等を通して、学校、家庭、地域・社会が相互に連携・協力した特色ある教育活動等を実践し、「チーム学校」としてさらなる学校力の向上を図る。

【育成すべき資質・能力と実現すべき教育環境と組織運営】

自己申告書における今年度の目標
(◎は今年度の重点目標)

☆**確かな力を身につける学校**となるために育成すべき資質・能力

◎**知識・技能の習得**

…板橋区授業スタンダードの徹底、ゴールを明確にしたねらいと振り返りの充実、ICT活用、学力補充

◎**思考力・判断力・表現力等の育成【赤二型学力・探究活動の充実】**

…知識・技能の活用、自らの考えの発信、学びの成果を語る、ピクトグラムの活用

◎**学びに向かう力・人間性等の涵養【やる気にさせる・その気にさせる指導】**

…認め・褒め・励ます指導等を通じた意欲醸成、学習習慣の確立、学習環境の整備、体験活動の充実

◎**読み解く力の育成…input-think-outputの充実・要約・語彙・読書**

○体力向上・食育健康教育の充実…課題解決に向けた取組

○危険を予測し自他の安全のために主体的に行動できる能力の育成…安全学習・安全指導

○コミュニケーション能力の育成（聴く力・話す力）…対話的・協働的な学習活動

○情報活用能力・プレゼン能力の育成…探究的な学び（総合的な学習等）

○問題発見・解決能力の育成…探究的な学び（総合的な学習等）

○自己理解・自己管理能力の育成…自分の感情や行動をコントロールする力の啓発

○課題対応能力の育成…SDGs・環境等の学習

○キャリアプランニング能力と自己実現を図ろうとする態度の育成

…3年間を見通した進路指導・キャリア教育

☆**豊かな人間性を身につける学校**となるために育成すべき資質・能力

◎**道徳性の涵養【生徒とともに生き方を考える指導】**

…道徳科の充実（自己をみつめ、多面的・多角的に考える学習活動／ローテーション）

◎**内省力の向上【学びの成果を語らせる指導】…振り返りの充実**

◎**自己肯定感の高揚【認め・褒め・励ます指導・支援】…成長を実感できる教育活動**

○人権感覚の醸成…言語環境、教師と生徒との関わり、教室環境、発行する文書等

○豊かな情操の育成…鑑賞活動の充実、文化的学校行事の充実

○規範意識の醸成・自己指導能力の育成…生徒指導、集団美及び安心安全の理念共有

○所属感・連帯感・公共の精神の醸成…生徒会活動、学級活動、学校行事

○探究心・創造力・好奇心の醸成…学習課題の設定・解決・発信、総合的な学習の時間

○人間関係形成・社会形成能力の育成…協働的な学びの充実

○郷土“板橋”を愛する心（いたばしを語る子）の育成…地域清掃、伝統芸能鑑賞、板橋区内巡り等



語り合う

移動教室…農作業体験を入れる(ほっとステイちの)/13000円/緊急時の対応確認
板橋めぐり…ボランティアガイド活用/探究テーマ設定/関係各所と確認/緊急時の対応確認
校外学習…交通費の負担減/探究テーマ設定/緊急時の対応確認
修学旅行…総予算76000円(班行動含)/京都奈良方面(秋)/緊急時対応確認/探究テーマ設定
※物価高騰・混雑緩和対策等検討する

☆**安心して学び、生き生きと活躍することができる学校**となるために実現すべき教育環境と組織運営

◎**いじめ・不登校・自殺予防等の充実【寄り添う支援(伴走者)】…具体的かつ実効性のある対策**

◎**特別支援教育の充実【寄り添う支援(伴走者)】…障がい特性の理解と指導、特別支援委員会の充実**

◎**活躍できる場の充実【認め・褒め・励ます指導・支援】…学校行事、生徒会活動、部活動**

◎**自ら学びの成果を語ることができ、成長を実感できる教育活動の充実**

◎**生徒の可能の引き出す、「個別最適な学び」(指導の個別化・学習の個性化)「協働的な学び」の実現**

◎**指導・評価・支援の一体化…評価方法等の周知徹底、信頼性・妥当性の確保**

◎**指導力向上【やる気にさせる・その気にさせる指導】**

…**校内外研修<指導力=熱意×考え方×能力>・生徒理解・学習評価・カリキュラムマネジメント・提案**

○教育環境整備の充実…GIGAスクール構想の実現（文房具）・学びの広場

○学校安全の充実…防災教育・安全学習・安全指導・食物アレルギー対応

○**相談活動の充実【傾聴(伴走者)】…認め・励ます指導、各種面談**

○小中一貫教育の充実…学びのエリア内の共通理解の促進、どのようにつながかの視点

○CS委員会・地域団体等との連携・協働…地域の教育力の活用、各大学等との連携

○**学校広報の充実**…各種たより・HP・校内掲示物・保護者会

指導力

伴走者

HP

○担当職務の充実（正確性）・改善・効率化【報連相】

- ・目的思考・報連相・予算管理（私費）・業務
- ・指導等の「範囲・内容の精選・重点化」



○教育公務員としての自覚と責任【起案による意思決定】

- ・サービス規律の遵守、接遇能力向上、指導力向上（週案）、学び続ける教師

○働き方改革の実現【目的思考・規律と和】

- ・超過勤務の削減（時間外勤務月 80 時間以内、週 1 日の定時退勤日設定、21 時最終退勤、協働等）



【参考資料】

★不登校の児童生徒等への支援の充実について ※令和5年11月17日付5文科初第1505号より抜粋

- ①不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することをめざす必要があること。
- ②不登校の時期が休養等の積極的な意味をもつことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益等が存在することに留意すること。
- ③既存の学校教育になじめない児童生徒については、学校としてどのように受け入れていくかを検討し、なじめない要因の解消に努める必要があること。
- ④児童生徒一人ひとりの学習進度や興味・関心等に応じて、ICT を一層活用しながら、教材や学ぶ方法等を選択できるような環境を整え、きめ細かな学習指導を行うなど、児童生徒の特性に合った柔軟な学びの実現に向けて授業改善を行うこと。

★今後の教育活動等に関する重要なキーワード

【生徒指導の目的・目標】『生徒指導提要（改訂版）』 2022）

（目的）生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

（目標）児童生徒が、深い自己理解に基づき、『何をしたいのか』『何をすべきか』、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定してこの目標の達成のため、自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち『自己指導能力』を獲得することが目指されます。

- ・発達支持的生徒指導では、日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけが大切になります。例えば、自己理解力や自己効力感、コミュニケーション力、他者理解力、思いやり、共感性、人間関係形成力、協働性、目標達成力、課題解決力などを含む社会的資質・能力の育成や、自己の将来をデザインするキャリア教育など、教員だけではなくスクールカウンセラー等の協力も得ながら、共生社会の一員となるための市民性教育・人権教育等の推進などの日常的な教育活動を通して、全ての児童生徒の発達を支える働きかけを行います。

【教科の指導と生徒指導の一体化】…生徒指導提要より

- ・自己存在感の感受・・・「授業の内容がよく分かる」と実感できる
- ・共感的な人間関係の育成・・・互いに認め合い・励まし合い・支え合える学習集団づくり
- ・自己決定の場の提供・・・自ら考え、選択し、決定する場の提供、対話や議論の機会の提供
- ・安心安全な風土の醸成・・・「自分にはよいところがある」と実感できる・良い点・成長した点を賞賛

【日本社会に根差したウェルビーイングの要素】

- ・幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）・学校や地域でのつながり・協働性・利他性・社会貢献意識
- ・自己肯定感・多様性への理解・サポートを受けられる環境・自己実現（達成感、キャリア意識など）
- ・心身の健康・安全・安心な環境 など

